

第6回国際塾講義「最先端科学とアートの出会い～ミュオグラフィーアートとは？」
の感想

総社南高校 2年

川本梨緒

最初はミュオグラフィーという言葉も始めて聞いたし、アートについてあまり関心も無かったけど、科学にアートを取り入れて若者の関心を高めようという試みはとても面白いと思ったし、自分もどんなものだろうと興味を持ちました。自分たちが何気なく目にしている3D映像やVRのゲームなども科学とアートが融合して作られているのだと意識すると、改めて科学技術は進歩しているな、芸術にはこういうものがあるんだな、とそれぞれの分野についての関心が湧きました。講義の中で説明されていたミュオグラフィーに関連した絵について、こういう風にひと目見ただけでイメージが掴めたら、科学についてもっと知りたいと思う人も増えるだろうし、科学に難しそうに近寄りがたいというイメージを持っている人も、絵に対する感動から科学を学んでみるきっかけを作ることができるのだろう、と思いました。また、科学が発展することで新しい形のアートが生み出され、それに感動した人たちによって科学はさらに発展されるといったように、科学とアートは互いに高め合うことができる良い関係を持っていると思いました。

後半でお話されていたミュオグラフィーの技術について、火山や古墳などを透視するなんてフィクションのようなことが実際に行われていることを知り、とても面白いと思ったし、科学技術の進歩について自分は何も知らないな、と思いました。今回のこの講義で科学に対する興味がとても高まりました。